



第31回
スマイルインタビュー



吹奏楽の楽しみについて教えてください。

大好きな様々な楽器により、一つの音楽を皆で作りにあげることにより、一体感が生まれるところだと思います。

コロナ禍で練習も大変だと思いますが、特に気をつけていることは？

管楽器は特に飛沫が飛びやすいので、お互いの距離をあけたり、使った後は椅子や譜面台の消毒をしっかりとやっています。

現在の団員の構成はどのようになっていますか？

20代前半から60代後半まで約30名が在席しています。

指導する際、最も重視する点は？

指揮者ではないので、具体的にはわかりませんが、常に心を一つにして音楽を作り上げるようにしています。

昨年の「ヴァレンタイン・コンサート」はともチャージングでした。今年はどうなりますか？

今年はコロナの影響で観客は

入れずに関係者のみの「発表会」として開催します。

今までで一番うれしかったことは？

演奏を聴いた人から『良かったよ』と言ってもらえることです。



2月28日の無観客でのコンサートに向けて練習する風景

※お互いに間隔を1.5m以上開け、窓を全て開け練習しています。使用後はそれぞれ使用した椅子等の消毒もしっかり行っています。

あ
と
が
き

令和2年、今年の漢字は「密」でした。ネットで「密」を検索すると「3つの密、新型コロナウイルス集団感染予防対策として厚生労働省が避けるべきとされる密閉・密集・密接を指す」と出てきます。

大竹市議会においても議場や会議室などの席の間隔を空け、パーティションを設置し、定期的に部屋の換気をするなどの3密対策をとって、会議を行ってまいりました。

マスクはもちろん、消毒・検温も徹底して行い、今日まで無事に議会活動が出来ているのは、議会事務局や職員の方の力があつたからこそだと思っています。

また、令和2年は、様々な行事が延期されたり中止になったりしました。一つの行事が中止になればその影響は大変大きく、主催者や関係者の方は計り知れない苦労があつたことと思います。

結婚式ができなくなった方、帰省ができなくなった方など、親密な関係を隔絶しようとする新型コロナウイルス。まだまだ収束が見えない中、まず私達が感染しない、させないを第一にしっかりと予防対策をとって、乗り切っていきたいと思っています。

広報広聴特別委員

- 委員長 北地 範久
- 副委員長 小田上 尚典
- 藤川 和弘
- 原田 孝徳
- 小中 真樹雄
- 中川 智之
- 日域 智之

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。



発行：令和3年2月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方一丁目11-1
Tel 0827-5912183 Fax 0827-5717110